

この頁より合計 5 ページにご回答の上、2 頁で解説のウェブ回答、FAX 等にて
7 月 10 日までにご返送下さい。

2019 年参議院議員選挙に際して
LGBT (性的指向・性自認) をめぐる課題に関する
各立候補者の政策と考え方に関する調査<調査票>

2019 年 6 月
LGBT 法連合会

立候補 (予定) 者のお名前 (浅野 ふみ子)

所属政党 (日本共産党)

(千葉) 選挙区 ・ 比例区

連絡用お電話番号 :

043-241-4251

問 1 貴殿が今回の参議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの
LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか? 将来はいかがでしょうか? (単
独回答)

- ① LGBT の課題として、既に含まれている
2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている
3. 将来入る可能性はある
4. 将来入る可能性はない
その他 (具体的に:)

問 2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうかしますか？（複数回答可）

- ① その人を尊重し応援したいと思う
- 2. 距離をおきたいと思う
- 3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す
- 4. 答えられない／分からない
- 5. その他（具体的に： _____）

問 3 LGBT 支援政策の下記の①-⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢 1-5 から選び、ご記入下さい。

① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う。

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
- 2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
- 3. 現場の裁量に委ねるべきである。
- 4. わからない
- 5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する。

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
- 2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
- 3. 現場の裁量に委ねるべきである。
- 4. わからない
- 5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）
多様な性について幼少期から学習し、理解を促すことが必要であるため。

③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた基本計画を策定し、実施する。

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
- 2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
- 3. 現場の裁量に委ねるべきである。
- 4. わからない
- 5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）
自治体ごとに対応の差があればならないため。

④ 学校における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する。

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
- 2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
- 3. 現場の裁量に委ねるべきである。
- 4. わからない
- 5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
- 2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
- 3. 現場の裁量に委ねるべきである。
- 4. わからない
- 5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）
学校・企業規模において、相談窓口の設置や福利厚生、社内研修などを実施する。

⑥ LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱い防止・禁止する法律やルールを制定する。

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
- 2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
- 3. 現場の裁量に委ねるべきである。
- 4. わからない
- 5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

⑦施設・職場・学校等にて、LGBTに配慮した、サービスや施設面の対応を推進する。

- ① 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。
2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
3. 現場の裁量に委ねるべきである。
4. わからない
5. その他／1-4から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

問4 世界では、現在27の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域でも同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

- ① 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
- ② 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
- ③ 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
- ④ 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならい）
5. こうした制度は異性間のものであるべきで、特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に：)

問 5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事をされたいとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

(自由記述)

(別紙)

* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、7月10日までにご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。

<別紙>

問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事をされたいとお考えでしょうか？ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

(回答案)

以前、レインボー千葉の会などの主催で、千葉大教育学部内で開催されたLGBT シンポジウムに参加し、非常に勉強になり、さらに多様性を認め合い、個人を尊重する社会をつくらなくてはいけないと強く感じました。

シンポジウムで上映された映画「ジェンダー・マリアージュ」は、同性婚を認めさせる5年間の闘いを、アメリカ・カリフォルニア州のママ同士のステップファミリーと男性同士のカップルとともに、支援する弁護士や運動団体、家族や親族などを追っていくものでした。普通に異性が結婚すると得られる権利が、同性では認められないことはどのくらい辛いのか。宗教上の規範をかさに着た、口汚くののしる者たちの無知がありました。映画では「私たちはふつうに結婚したいだけ」という言葉がたびたび紹介されましたが、愛し合う者の結婚を異性に限ることの不当性が裁判で明らかにされた瞬間は、人類の歴史がまたさらに一歩進んだと感じました。

日本では、LGBTは「いない」とされてきたこと、同性パートナーでは賃貸住宅の入居要件や医療機関で家族と認められなかったりするなど、差別や不利益な扱いが根強くあります。

身近な友人、地域とともに暮らす知人とともに、法的にもLGBTの人権の尊重を実現させたいです。

国会議員として、同性婚を認める民法改正を行い、地方議員や行政で働くみなさんとともに、同性カップルの権利保障をすすめるパートナーシップ条例・制度を推進します。野党が共同提出している「LGBT差別解消法案」の成立に全力をあげます。

さらに、性別適合手術の保険適用の拡充、学校教育や企業内研修、当事者である子ども・若者のケアなど、社会のあらゆる場面で権利保障と理解促進をすすめます。企業内での取り組みの好事例などを広く知らせて、さらなる理解促進につなげていきます。

以上